

令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

岐阜県立大垣商業高等学校 定時制課程

学校番号

2604

1 学校教育目標	(1)知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな身体の育成 (2)地域・家庭・学校の連携協力による明るく、活力ある地域社会人の育成	
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー(GP)	『生徒をどう育てるか』カリキュラム・ポリシー(CP)
	『どんな生徒を待っているか』アドミッション・ポリシー(AP)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活を送るうえで必要な基礎的な学力を身に付け、社会の一員として主体的に行動できる生徒 ・自分の言動が人にどのような影響を与えるかを考え、固定概念にとらわれず柔軟な発想をもって人と接することができる生徒 ・地元を愛し、地域の一員として働くことができる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を向上させる普通教科と、専門的な学力をつける専門教科(商業)をバランスよく配置したカリキュラムの編成と「わかる授業」の実践 ・少人数授業などにより、生徒の実態に合わせて学び直しを取り入れながら、基礎・基本の定着を図る学習活動の実施 ・全職員で全校生徒を見守り、授業だけでなく、学校行事や部活動などすべての教育活動を通して、協力・協調できる人間性の育成
3 現状の分析	<p>○学校評価アンケートから肯定的評価の割合が高い項目または昨年度より大幅に改善された項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている(100%)、学校は、保護者(地域)の悩みや相談に適切に対応している(97%) ・生徒・本校では、一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努めている(94%)、本校の教育方針や指導目標について分かりやすく説明を受けている(91%) <p>▲学校評価アンケートから否定的評価の割合が高い項目または昨年度より大幅に悪くなった項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者・お子様(子ども)と学校生活や将来について、話し合うことができている(73%)、一斉配信メールサービスは有効に活用されている(83%) ・生徒・ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している(67%)、生徒に適した進路情報を示し、生徒の可能性を引き出そうとしている(76%) 	
4 学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の基礎学力の向上 ・保護者との連携 ・将来を見据えたキャリア教育の充実 	
5 今年度の具体的な重点目標	◇社会人として身だしなみ等のマナーやモラル向上を目指し、望ましい人間関係の構築や勤労観・職業観の育成を図る	

年 度 目 標			年 度 末 (途中) 評 価			
6 評価項目 領域・分野	7 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	8 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	9 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	10 評価 A・B・C・D	11 成果と課題	12 総合 評価
学習支援	①基礎学力の定着と向上	①成績不振者の減少	①わかる、できるが実感できる授業と個別指導を実施	B	○個々にあった指導を行うためにICT機器を有効に活用できた。 ▲主体的に学ぶ態度の育成	A
	②きめ細かな指導	②検定試験合格者の増加	②生徒のニーズを把握し、個に応じた指導を継続	A		
	③積極的な広報活動	③高校入試出願者の増加	③高校見学への参加者や問い合わせの増加	A		
生徒支援	①教育相談活動の充実	①研修の充実と各検査の有効活用	①クレペリンの結果を教育相談に活用できた	A	○生徒個々の特性等を理解し、個々に応じた支援ができた ▲保護者との連携を更に高める	B
	②安心・安全な学校生活の確保	②いじめ迷惑調査の回答結果	②すぐメールの活用で調査がスムーズに実施できた	B		
	③問題を抱えた生徒への適応指導	③長期欠席生徒の減少	③不登校生徒の対応や保護者との連携ができた	A		
進路支援	①進路意識の高揚	①進学先・就職先の決定	①進学先・就職先の決定に向けて努力した	B	○外部と連携して、進路決定やアルバイト就業の支援ができた ▲情報提供を充実させたい	D
	②就職活動・入学試験への取組	②意識と取組姿勢の向上	②共通理解と段階的な支援をした	B		
	③進路相談の工夫と情報共有	③生徒・保護者・学校の連携	③進路相談を充実させ生徒を支援した	B		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和5年 1月23日

・保護者としては、学校の様子がわからないときがある。学校からの発信を頻繁に行ってほしい。また、学校のHPをもっと見やすくして活用できるようにしてほしい。

・進路については進学と就職の2択になっているが、世の中は多様化・多面化しているので、社会に出て活躍できるよう価値観を広げるような指導をしてほしい。

・「主体的に学ぶ」という項目の評価が低い。何のために学ぶのかという目的意識を高めていかないと、今後も生徒の学習意欲は高まらない。

13 来年度に向けての改善方策案

(学習支援) 到達度に合わせてきめ細かい指導を行いながら、基礎学力の定着と向上を図るとともに、生徒が主体的に学習し、学び続けられる態度の育成に努める。

(生徒支援) 基本的な生活習慣、モラル教育とマナー教育については継続して指導・支援するとともに、他人を思いやる気持ちや社会の一員としてのつながりを大切にする指導・支援を強化する。

(進路支援) 卒業生の追跡調査を今年度中に実施する。回答を分析し、在学中に行っておくべき支援を考えて実行したい。また、通信や掲示物等を用いた情報発信にも努めていきたい。